高大連携講座報告書

2015/06/06

世の中にない薬を創る

豊田 真弘 先生（大阪府立大学理学系研究科）

大阪府立大学の豊田真弘先生をお招きして、薬についてのお話をしていただきました。「頭の良くなる薬」・「花粉症などのアレルギーを治す薬」・「不老長寿の薬」をテーマに、世の中にない新薬の合成を紹介していただきました。薬はそのほとんどが天然物ですが、合成され創られた薬も多く存在します。薬の合成には、有機化学と呼ばれる分野が中心になります。

「頭の良くなる薬」では、脳の情報伝達に大きく関係するアロストサイトを活性化させる薬を紹介して頂き、深刻な病気のひとつであるアルツハイマーへの使用が期待されているということを聞きました。また、「不老長寿の薬」では、１９４年も生きたとされる人のお話や、人の老化にはビタミンＣが有効であるというお話など、びっくりするようなとても興味深い内容でした。

この講座に参加したのは１・２年生が中心で、有機化学はまだ習っていない分野であったため、薬の構造式なども紹介していただきましたが、少し難しい内容だったと思います。しかし、薬を合成する方法や考え方など、なかなか聞けないお話を聞けて、とても貴重な時間となりました。